

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第9週（2月27日～3月5日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

高知県全域で注意報値である10.0を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第8週の24.02から第9週では14.73と減少しました。

全ての地域で減少しましたが、県全域と幡多、中央西、須崎、高知市では注意報値を超えていることから引き続き注意が必要です。

迅速検査ではインフルエンザA型が99.13%、B型0.87%です。

病原体検出情報では第9週に搬入された検体で須崎と高知市からInfluenza virus A H3 NTが計5件検出されています。

学校等における集団発生の報告数は減少しましたが、学年、学級閉鎖の報告はまだ続いています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数は第7週の23.92から第8週では16.87と減少しています。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2017年第4～8週）ではAH3亜型の検出割合が最も多く92.51%、次いでB（ビクトリア系統）が4.09%、B（山形系統）2.45%、AH1pdm09が0.82%、B（系統不明）が0.14%の順でした。

県内におけるインフルエンザの報告数はピーク時（第5週：50.60件/定点）の約1/3に減少しましたが、流行は続いていますので、外出後の手洗い等の感染予防を心がけましょう。

症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

高知県の保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2017年第9週）

	今週		1週前		2週前		3週前		4週前		5週前		6週前		7週前	
	第9週		第8週		第7週		第6週		第5週		第4週		第3週		第2週	
	定当	状況														
高知県全域	14.73	○	24.02	○	33.67	△	41.63	△	50.60	△	39.94	△	28.75	○	14.25	○
安芸	3.75	-	7.25	-	14.50	○	26.75	○	26.25	○	32.00	△	21.00	○	12.00	○
中央東	9.45	-	16.00	○	30.73	△	37.82	△	34.91	△	36.27	△	24.91	○	8.73	-
高知市	15.44	○	28.38	○	39.31	△	52.06	△	67.44	△	48.88	△	31.00	△	20.56	○
中央西	20.00	○	28.00	○	40.80	△	52.40	△	69.00	△	40.80	△	28.40	○	13.20	○
須崎	18.50	○	40.75	△	37.00	△	37.25	△	38.25	△	21.75	○	13.50	○	9.00	-
幡多	20.88	○	23.88	○	29.88	○	28.88	○	45.38	△	39.63	△	41.25	△	13.63	○

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

学校等における集団発生

※感染症情報収集システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第9週	0	0	0	0	0	0	0
	累計	3	0	0	1	3	1	8
学年閉鎖	第9週	0	0	1	0	0	0	1
	累計	11	5	17	5	12	12	62
学級閉鎖	第9週	1	0	3	0	2	0	6
	累計	3	3	66	4	4	6	86

インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生する水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- 咳・くしゃみが出たらマスクをしましょう。
- 鼻汁・痰などを含んだティッシュはフタつきのゴミ箱に捨てましょう。
- 咳・くしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は直ちに洗いましょう。
- 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。
- マスクの装着は説明書を読んで、正しく着用しましょう。

■ 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

●厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

●厚生労働省 「平成28年度インフルエンザ Q&A」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

幡多で注意報値である4.00を超えています。

定点医療機関からの報告数は第8週の2.20から第9週では2.23と横ばいです。中央西、高知市、安芸で増加し、幡多では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報では3例の報告があり、うち2例はインフルエンザA型と溶連菌感染症の同時感染でした。また、病原体検出情報では第8週に搬入された検体で須崎から *Streptococcus agalactiae* が1件、第9週に搬入された検体で高知市から *Streptococcus pyogenes Untypable* が1件検出されています。

感染症情報収集システム※でも10例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人、特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○咽頭結膜熱に気を付けて！

幡多で注意報値である1.00を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第8週の0.23から第9週は0.30と増加しています。高知市で増加し、幡多では注意報値を超えています。

感染経路は通常、飛まつ感染または手指を介した接触感染です。

以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

- 1)流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2)感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3)タオル等は別のものを使いましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第8週の4.70から第9週では5.37と横ばいです。県全域から報告があり、中央東、高知市、中央西で増加しています。

定点医療機関からのホット情報でノロウイルス2例の報告があり、病原性大腸菌O18腸炎1例、キャンピロ1例に加えて、胃腸炎が増えてきているとの報告もあります。感染症情報収集システム※でも30例の報告があることから、今後も引き続き注意が必要です。

また、病原体検出情報では第8週に搬入された検体で須崎から *Astrovirus NT* が1件、須崎と中央東から *Norovirus GII NT* が各1件検出されています。

特に乳幼児や高齢者、体力の低下している方は下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度ウイルスの排泄が続くことがあります。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。

便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

調理をする場合には、中心部まで十分に加熱しましょう。

- 厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

- 厚生労働省 「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」

<https://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM&feature=youtu.be>

- 衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

基幹定点当たりの報告数は第8週の0.25から第9週では0.75と急増しています。

定点医療機関からのホット情報は6例、感染症情報収集システム※は1例と以前に比べると報告数は減少してはいますが、引き続き注意が必要です。

感染経路は患者の咳のしぶきを吸いこんだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での伝播がみられます。

予防対策としては、手洗いと咳エチケットです。

※ 感染症情報収集システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが、つつが虫病はツツガムシというわずか0.3mmほどのダニの幼虫が媒介する感染症です。

全てのマダニやツツガムシが病原体を持っているわけではありませんが、これらのダニに咬まれないようにすることが感染の予防になりますので引き続き、注意が必要です。

予防するためのワクチン等はありません。マダニやツツガムシは野外に生息しています。

暖かくなるとダニの活動が活発になり、人も野外での活動が多くなることから、マダニ等が媒介する感染症のリスクが高まります。

野山や畑、草むら等に出かける時には長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、ダニ用の忌避剤を使用する等して、効果的な対策を自ら取ることが大切です。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★麻疹に対する注意喚起について

平成29年3月2日付けで高松市よりベトナムから帰国した麻疹患者の発生について報道発表がありました。本件については、当該患者が利用した航空機と高速バスで当該患者と接触した方は麻疹に感染する恐れがあることから、広く情報提供されています。

現在、県内在住の方で当該患者が利用した航空機と高速バスを利用したとの情報はありません。

麻疹は、発熱・咳・鼻水といった風邪のような症状の後、高熱と発疹が現れ、空気感染、飛沫感染、接触感染により感染し、その感染力は非常に強いと言われています。

発熱等の麻疹が疑われる症状が現れた場合は、医療機関を直ぐに受診するのではなく、必ず事前にかかりつけ医等に電話連絡でその旨を伝え、指示に従い、医療機関を受診しましょう。

麻疹は予防接種が有効です。定期接種は対象年齢になったら確実に2回受けましょう。

●高知県健康対策課 麻しん・風しんに関する情報

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/kansen-yobousessyumashin.html>

●厚生労働省 麻しん（はしか）に関するQ&A

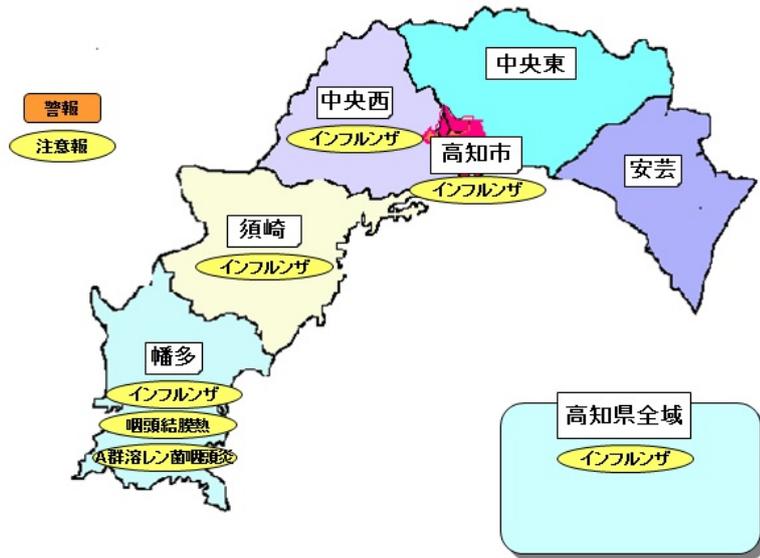
<http://www.mhlw.go.jp/qa/kenkou/hashika/index.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減
9週（2月27日～3月5日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↘	14.73	全ての地域で減少しましたが、県全域と幡多、中央西、須崎、高知市では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	5.37	中央東、高知市、中央西で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	2.23	中央西、高知市、安芸で増加し、幡多では注意報値を超えています。
RSウイルス感染症	↗	0.50	中央東、高知市で増加しています。
突発性発疹	↗	0.47	幡多、中央東で増加しています。

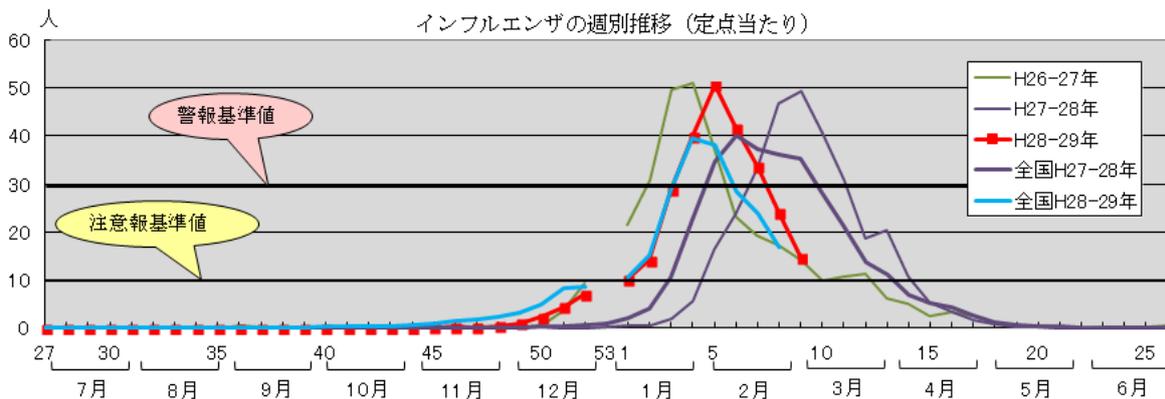
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

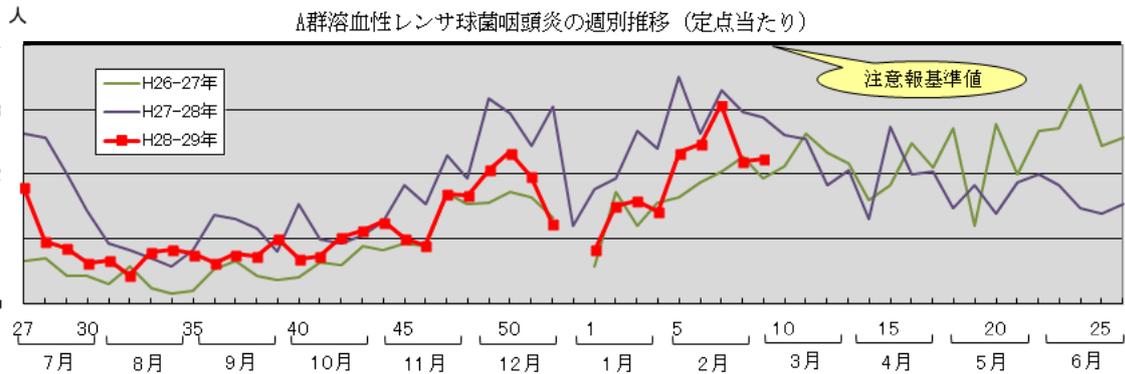
○インフルエンザ 第9週：14.73（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり14.73（前週：24.02）と減少していますが、県全域と幡多20.88（前週：23.88）、中央西20.00（前週：28.00）、須崎18.50（前週：40.75）、高知市15.44（前週：28.38）では注意報値を超えています。



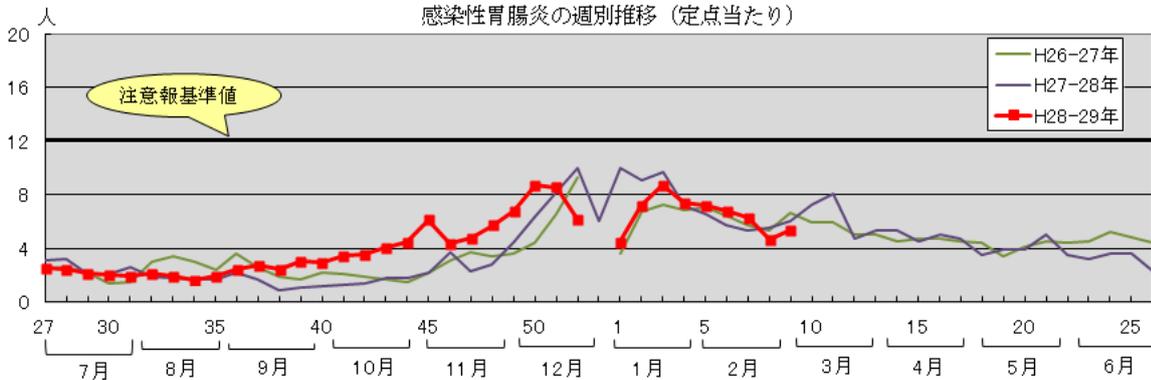
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第9週：2.23 (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.23 (前週：2.20) と横ばいです。中央西 3.00 (前週：2.00)、高知市 2.82 (前週：2.55)、安芸 0.50 (前週：0.00) で増加し、幡多 4.60 (前週：5.60) では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第9週：5.37 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 5.37 (前週：4.70) と横ばいです。中央東 6.71 (前週：3.14)、高知市 5.91 (前週：4.91)、中央西 2.67 (前週：1.00) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28 年は第 53 週までであるため、グラフ横軸に第 53 週を挿入しています。

そのため、H26-H27 年と H28-H29 のグラフ第 52 週～第 1 週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
9	インフルエンザ	3	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
9	インフルエンザ	47	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
9	インフルエンザ	6	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
9	インフルエンザ	10	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
9	インフルエンザ	2	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
9	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes Untypable</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
8	感染性胃腸炎	4	女	須崎	Astrovirus NT
8	感染性胃腸炎	11	男	中央東	Norovirus GII NT
8	感染性胃腸炎	8	男	須崎	Norovirus GII NT
8	-	10	男	幡多	Respiratory syncytial virus A
8	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	男	須崎	<i>Streptococcus agalactiae</i>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2 類	結核	1	13	90歳代女	須崎
		1	14	80歳代女	中央東
		1	15	70歳代男	幡多
5 類	梅毒	1	4	40歳代男	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安芸	田野病院小児科	hMP感染症 1例 (3歳男)
中央東	野市中央病院小児科	インフルエンザ (いずれも A 型) 2例 (2歳女: ワクチン済み、17歳女: ワクチン未) ヒトメタニューモウイルス陽性 2例 (1歳男、2歳男)
		保育園 RS ウイルス感染症 8例 (5ヶ月1人、9ヶ月1人、1歳5人、2歳1人) うち1人は他院に入院
	早明浦病院小児科	A型インフルエンザ 12例 (2歳3人、4歳1人、10から14歳7人、17歳1人)
		溶連菌感染症 1例
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎 1例 (1歳男)
		病原性大腸菌 O-18 腸炎 1例 (33歳女)
	高知医療センター小児科	ヒトメタニューモウイルス 1例 (1歳男)
		ノロウイルス 1例 (1歳男)
		インフルエンザウイルス 5例 (1歳男、3歳男、5歳女、10歳男、15歳女)
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1例 (12歳男)
		アデノウイルス感染症 1例 (8歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A型と溶連菌感染症の同時感染 1例 (4歳男)
		インフルエンザ A型 24例、B型 0例、ワクチン接種済 1例
		伝染性紅斑 1例 (8歳女)
水痘 1例 (3歳女: ワクチン接種済) 胃腸炎が増えてきている。		
細木病院小児科	キャンピロ 1例 (8歳男)	
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A (1歳男: 溶連菌と混合感染、3歳男: 須崎、8歳男: 須崎、12歳女: 土佐市)
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 2例 (5歳女、6歳男)
須崎	もりはた小児科	インフルエンザ患者大きく減少。 今季 B 型インフルエンザ極めて少ない。 マイコプラズマ肺炎 2例 (7歳、8歳)
		マイコプラズマ 1例 (10歳女)
		インフルエンザ 27例 全て A 型
幡多	さたけ小児科	hMPV 陽性 4例 (7ヶ月男、1歳女、2歳男女)
		ノロウイルス陽性 1例 (1歳女)
	幡多けんみん病院小児科	ノロウイルス陽性 1例 (1歳女)

★全国情報

第7号（2月13日～2月19日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核294例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症8例

4類感染症：E型肝炎5例、A型肝炎4例、つつが虫病2例、デング熱2例、レジオネラ症16例

5類感染症：アメーバ赤痢19例、ウイルス性肝炎5例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症13例、急性脳炎14例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、後天性免疫不全症候群4例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性肺炎球菌感染症55例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒74例、播種性クリプトコックス症5例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん1例、麻しん6例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、パラチフス1例、E型肝炎1例、つつが虫病1例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症12例、急性脳炎6例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、梅毒19例、播種性クリプトコックス症2例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第9週 平成29年2月27日(月)～平成29年3月5日(日)

高知県衛生研究所

定点名 疾病名	保健所	第9週						計	前週	全国(8週)	高知県(9週末累計)		全国(8週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H29/1/2～H29/3/5	H29/1/2～H29/2/26		
インフルエンザ		15	104	247	100	74	167	707 (14.73)	1,153 (24.02)	83,714 (16.87)	12,374 (257.79)	1,000,000 (201.73)		
小児科	眼 頭 結 膜 熱			4			5	9 (0.30)	7 (0.23)	1,156 (0.37)	55 (1.83)	8,225 (2.60)		
	八群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	1	3	31	9		23	67 (2.23)	66 (2.20)	7,773 (2.46)	530 (17.67)	50,972 (16.12)		
	感 染 性 胃 腸 炎	14	47	65	8	3	24	161 (5.37)	141 (4.70)	16,771 (5.30)	1,743 (58.10)	147,794 (46.74)		
	水 痘		1	3			2	6 (0.20)	4 (0.13)	1,032 (0.33)	108 (3.60)	9,212 (2.91)		
	手 足 口 病							()	()	397 (0.13)	14 (0.47)	3,984 (1.26)		
	伝 染 性 紅 斑		2	2			2	6 (0.20)	4 (0.13)	224 (0.07)	43 (1.43)	2,145 (0.68)		
	突 発 性 発 疹		2	6	1		5	14 (0.47)	8 (0.27)	1,243 (0.39)	73 (2.43)	9,169 (2.90)		
	百 日 咳			1				1 (0.03)	()	23 (0.01)	8 (0.27)	181 (0.06)		
	ヘルパンギーナ							()	1 (0.03)	56 (0.02)	1 (0.03)	621 (0.20)		
	流行性耳下腺炎							()	8 (0.27)	1,979 (0.63)	63 (2.10)	16,845 (5.33)		
	RSウイルス感染症		8	6			1	15 (0.50)	9 (0.30)	674 (0.21)	158 (5.27)	8,278 (2.62)		
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	6 (0.01)	()	56 (0.08)		
	流行性角結膜炎							()	()	303 (0.44)	5 (1.67)	2,766 (3.99)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	6 (0.01)	1 (0.13)	67 (0.14)		
	無菌性髄膜炎							()	2 (0.25)	16 (0.03)	2 (0.25)	119 (0.25)		
	マイコプラズマ肺炎		2	4				6 (0.75)	2 (0.25)	176 (0.37)	36 (4.50)	2,017 (4.26)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	4 (0.01)	2 (0.25)	55 (0.12)		
	感 染 性 胃 腸 炎							()	1 (0.13)	119 (0.25)	6 (0.75)	424 (0.89)		
	計 (小児科定点当たり人数)	30 (11.25)	169 (18.45)	369 (26.17)	118 (26.00)	77 (20.00)	229 (33.28)	992 (24.03)		115,672	15,222 (350.99)	1,262,930		
	前 週 (小児科定点当たり人数)	48 (16.75)	208 (20.41)	559 (37.56)	154 (32.66)	171 (44.75)	266 (38.88)		1,406 (32.28)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

第9週

定点名 疾病名	保健所	第9週						計	前週	全国(8週)	高知県(9週末累計)		全国(8週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H29/1/2～H29/3/5	H29/1/2～H29/2/26		
インフルエンザ		3.75	9.45	15.44	20.00	18.50	20.88	14.73	24.02	16.87	257.79	201.73		
小児科	眼 頭 結 膜 熱			0.36			1.00	0.30	0.23	0.37	1.83	2.60		
	八群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎	0.50	0.43	2.82	3.00		4.60	2.23	2.20	2.46	17.67	16.12		
	感 染 性 胃 腸 炎	7.00	6.71	5.91	2.67	1.50	4.80	5.37	4.70	5.30	58.10	46.74		
	水 痘		0.14	0.27			0.40	0.20	0.13	0.33	3.60	2.91		
	手 足 口 病							()	()	0.13	0.47	1.26		
	伝 染 性 紅 斑		0.29	0.18			0.40	0.20	0.13	0.07	1.43	0.68		
	突 発 性 発 疹		0.29	0.55	0.33		1.00	0.47	0.27	0.39	2.43	2.90		
	百 日 咳			0.09				0.03		0.01	0.27	0.06		
	ヘルパンギーナ							()	0.03	0.02	0.03	0.20		
	流行性耳下腺炎							()	0.27	0.63	2.10	5.33		
	RSウイルス感染症		1.14	0.55			0.20	0.50	0.30	0.21	5.27	2.62		
眼科	急性出血性 結 膜 炎							()	()	0.01	()	0.08		
	流行性角結膜炎							()	()	0.44	1.67	3.99		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	0.01	0.13	0.14		
	無菌性髄膜炎							()	0.25	0.03	0.25	0.25		
	マイコプラズマ肺炎		2.00	0.80				0.75	0.25	0.37	4.50	4.26		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	0.01	0.25	0.12		
	感 染 性 胃 腸 炎							()	0.13	0.25	0.75	0.89		
	計 (小児科定点当たり人数)	11.25	18.45	26.17	26.00	20.00	33.28	24.03			350.99			
	前 週 (小児科定点当たり人数)	16.75	20.41	37.56	32.66	44.75	38.88		32.28					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869